

“1Mbps以下でDVD品質”を実現する次世代動画配信ソリューションを提供

日本SGIグループのメディア・クルーズ・ソリューション (MCS) は、ブロードバンドに特化したSI事業を展開している。同社は今春より、1Mbps以下の低ビットレートでDVD並みの高画質を実現する圧縮技術「VP4」をコアに、動画配信ビジネスをトータルにサポートするソリューションを提供している。

ブロードバンドアクセス環境の普及を背景に、大手通信キャリア、アクセス事業者、ISP、さらに各種サービスをトータルに提供するフルサービスプロバイダーは、高品質な映像コンテンツによる商用サービスの実現に向け動き始めている。

ところがここで大きなネックとなるのが、“ADSL8Mbps”あるいは“CATV8Mbps/30Mbps”といった魅力的な通信速度も、常時確保されている帯域ではないということ。高画質を実現するはずの大容量データも、ユーザーの利用環境によってはストレスを引き起こす要因になりかねない。映像品質を重視するコンテンツホルダーであればあるほどこうしたエンドユーザーの視聴環境にはシビアで、常にユーザーがエンジョイできる環境でなければ映像ソースの提供を拒否

するところもあるほどだ。せっかくのビジネスチャンスも、単にブロードバンド環境を整えただけでは実現できない恐れが出てきた。そこに大きな価値を持って登場したのが、MCSの提供する米国On2テクノロジー社の圧縮技術「VP4」をコアにした動画配信ソリューションである。

IPベースのストリーミング

On2社はMCSに出資する企業の1社で、ビデオ映像のエンコーディング分野におけるリーディングカンパニーである。中でも、同社が開発したVP4は、業界最先端の映像圧縮技術だ。

VP4について、MCS技術部システム・エンジニアの安友博文氏は、「映画なら24fps、ビデオなら30fpsのネイティブフレームレートで、映像品質を保持したままMPEG2に対して最高約

75%もの高圧縮率を誇ります。これにより、xDSLやCATVで快適に閲覧できる1Mbps以下という低ビットレートでDVDと同等品質のIPストリーミング配信が可能となります」と話す。

海外ではすでに商用ベースでの導入案件が



MCS技術部システム・エンジニア 安友博文氏
MCSビジネス推進部 石井繁氏

多数寄せられており、例えばワーナー・ブラザーズではパイロットシステムとして、750Kbpsによるダウンロード型のオンデマンド配信システムを構築し、実用に向けたテストを実施中。また、去る4月8日から米国で開催された「NAB2002」のOn2社ブースに、日本サイドの代表として参加した同社ビジネス推進部の石井繁氏によれば、「日本の放送技術関係者の皆様にもデモをご覧いただき、多くの方々から高い評価を得ることができた」という。

3つの商品をパッケージ

今回、MCSから提供されるソフトウェア製品は、「TrueCast® Server」「On2 VP4 Encoder」「RealSystem® Server用Plug-in」の3つ。

TrueCast® Server (1Serverあたり160万円) は、VP4に圧縮された映像を配信するストリーミング・サーバー・ソフトウェア。Windows-

NT/2000又は、Linux (RedHat) 上で稼働する。ネットワークの負荷をリアルタイムに監視しながら環境に最適なビットレートで効率よく映像を配信するDynamicStreamSwitching技術も搭載している。「DynamicStreamSwitchingは、さまざまな要因で帯域を圧迫されるストリーミング環境において、映像を途切れさせることなく最適なビットレートで配信を行う機能です」(安友氏)。

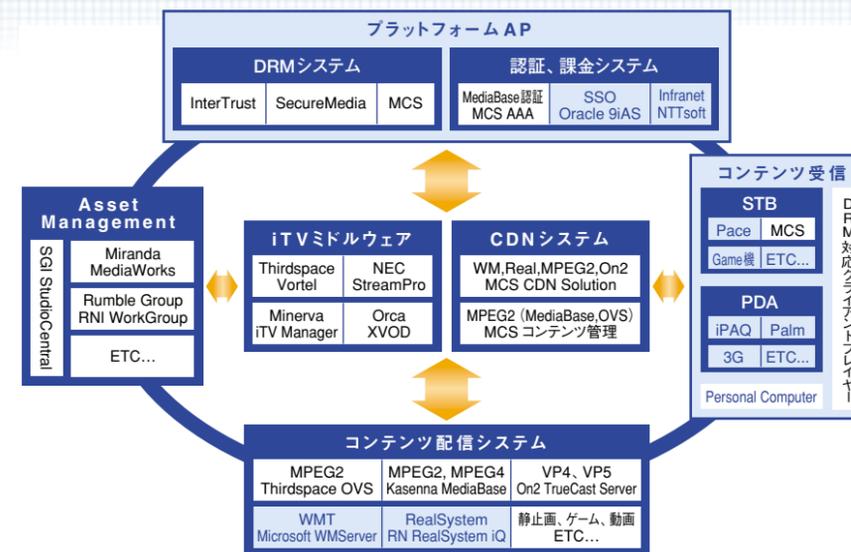
On2 VP4 Encoder (1 Systemあたり498万円) は、映画やビデオといったコンテンツに合った最適な非圧縮映像キャプチャおよびリマスタリングツールを含んだエンコーダ・ソフトウェア。現在、コンテンツをVP4に圧縮できる唯一のソフトで、今後の普及次第ではサービスプロバイダーに加え、映像プロダクションやメディアコンバート会社にも導入されることが考えられる。

3つ目のRealSystem® Server 用Plug-in は、RealSystem® Server 上からVPxフォーマットのデータを配信できるようにする製品。RealSystem® Server を導入済みで、既存システムを活用しながらVPxフォーマットにも取り組みたい事業者向けのソリューションだ。この製品は、近々発売される予定となっている。ちなみに再生環境は、専用プレイヤーのほかRealPlayer®でも再生できるためユーザーへの負担は最小限である。

パートナーSIとタッグ

もちろん、MCSが提供するソリューションは、こうしたパッケージ製品の提供だけにとどまらない。ブロード

図2 MCSブロードバンドソリューションの概要



バンドに特化したSIとして、CDN、DRM、顧客管理、コンテンツ管理、さらにはサービスの差別化を図るSTBの設計・開発など、商用の動画コンテンツ配信ビジネスを早期に実現する全領域に及ぶトータルソリューションを手がける。

例えば、アクセス事業者を考えた場合、アクセスサービスに対応した顧客管理や課金システムはすでに構築されているはずだ。そこに新たなサービスとして映像配信を開始するには、従来システムの上位レイヤとして、映像配信用の新たな顧客管理や課金、著作権管理などのシステムが必要になってくる。

ビジネス推進部の石井氏は、「こうしたトータルソリューションを提供するうえで大きな力になるのが、日本SGIをはじめ、NEC、NTTソフトウェア、BSIといったMCSの出資企業、さらにセキュアメディア等のスペシャリティを持つ数々のパートナー企業です。こうした企業とのコラボレー

ションにより、VP4をコアにした新ビジネスの実現、そしてブロードバンドサービス事業者がビジネスを推進していくために必要となるソリューションを提供していきます」と語る。

国内でもすでに、VP4をコアとしたシステムが大手キャリアやISP、CATV局などに試験導入され実用化に向けたテストが繰り返されている。MCSでは日本SGIのブロードバンド事業部であった時からのMPEGベースの配信システム、トータルソリューションを提供してきた技術をベースに、既存技術やシステムの置き換えではなく、国内外の新しいテクノロジーにいち早く着目し、これを既存システムに統合していくことで新規ビジネスの創出、ひいてはブロードバンド市場全体の発展に寄与していきたい考えだ。

お問い合わせ先

メディア・クルーズ・ソリューション株式会社
〒150-0011 東京都渋谷区東3-14-15MOビル1階
TEL: 03-5469-8090
E-mail: on2-sales@mcskk.com
URL: http://www.mcskk.com/